

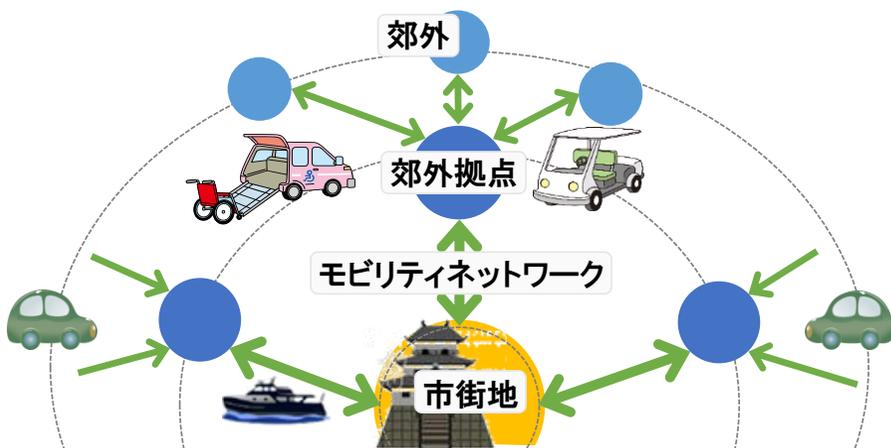
エコ×ユニバーサルな国際文化観光都市・松江の次世代型まちづくり構想

～ 誰もが楽しめる拠点づくりと低炭素型モビリティのネットワーク化を目指して ～

代表提案者	エコ×ユニバーサルな松江のまちづくりを考える会(地域30まつえ・NPO法人プロジェクトゆうあい・社会福祉法人みずうみ)
協同提案者	松江市

観光客の増加が加速する中、市街地では交通混雑の常態化や、人口減少に伴う空き家・空き地の増加が問題となっている。これを背景に、“エコ(創蓄省エネ, 低炭素)”及び“ユニバーサル”の視点から、観光行動の低炭素化と、誰もが思い思いに楽しめるおもてなしの観光地づくりを推進し、「国際文化観光都市・松江」の品格を高めていくための“道しるべ”として本構想を策定した。

▼リーディングプロジェクトと取組の方向性



LP1) 「歩きたくなる」市街地賑わい拠点の整備

→まち歩き観光を促進し、市街地内でのマイカー利用を抑制。

LP2) 「行きたくなる」郊外交通結節拠点の整備

→郊外にパーク&ライド拠点を整備し、市街地へのマイカー進入を抑制。

LP3) 「乗りたいくなる」モビリティネットワークの構築

→市街地と郊外拠点を結ぶエコでユニバーサルなモビリティを導入。

エコ×ユニバーサルな国際文化観光都市・松江の
次世代型まちづくり構想の実現

松江駅前地区

LP1) 「歩きたくなる」市街地賑わい拠点の整備

- ①ユニバーサルな交通施設整備
- ②交通施設等への分散型エネルギー導入
- ③賑わいを生み出す駅前エリアの整備

- ・駅前から松江城に繋がる歩きやすい観光動線の確保
- ・道路の拡幅・歩道の整備やICT化推進によりユニバーサル化を支援等
- ・賑わい施設、公共空間、交通結節点などに環境負荷が少ない分散型エネルギーを導入(耐災害性も向上)等
- ・水都松江のウェルカムルートとなる松江駅から大橋川の水辺までの観光ルートづくりと面的な駅前再整備等

法吉地区

LP2) 「行きたくなる」郊外交通結節拠点の整備

- ①小さな拠点づくりの推進

- ・住民や観光客が容易に集える新たなコミュニティ施設の整備と小さな暮らしのスマート化
- ・ユニバーサル観光のツアーデスクや観光移動の休憩・中継拠点の整備

LP3) 「乗りたいくなる」モビリティネットワークの構築

- ①次世代モビリティの導入
- ②福祉車両を活用したバリアフリー観光の交通整備

- ・団地内の移動を支援する電動小型低速モビリティ導入・自動運転化
- ・日常生活以外の観光利用などの新たな活用
- ・交通弱者の観光移動を支援する既存福祉車両の活用(中心部等からジオパーク等を含めた広域移動を支援)

乃木地区

LP2) 「行きたくなる」郊外交通結節拠点の整備

- ②公的遊休不動産活用による新たな拠点づくり

- ・ユニバーサル観光対応型の複合型賑わい拠点の整備
- ・広大な敷地を活用したPV駐車場整備等

LP3) 「乗りたいくなる」モビリティネットワークの構築

- ①次世代モビリティの導入
- ③水都松江を代表するエコシップの開発・導入

- ・誰もが楽しめる回遊型電動小型低速モビリティの導入
- ・湖畔周辺観光モビリティの自動走行化
- ・デザイン性・利便性の高いバリアフリー対応型エコシップの開発
- ・湖上遊覧や観光拠点のネットワーク化

島根地区

LP2) 「行きたくなる」郊外交通結節拠点の整備

- ③バリアフリー観光拠点の整備

- ・既存施設を活用したバリアフリー型アクティビティ施設の整備
- ・既存施設やインフラのバリアフリー化

LP3) 「乗りたいくなる」モビリティネットワークの構築

- ①次世代モビリティの導入
- ②福祉車両を活用したバリアフリー観光の交通整備

- ・拠点施設からジオパークを回遊する電動小型低速モビリティの導入
- ・ジオパーク内モビリティの自動走行化
- ・交通弱者の観光広域移動を支援する既存福祉車両の活用(中心部等からジオパーク等を含めた広域移動支援等)